

TRUSCO PRO TOOL

Skilled professionals need professionally qualified tools.
This line of products brings manufacturers all the advantages of
using excellent equipment,
and will satisfy each and every user in the workplace.

取扱 説明書

軽量高さ調整作業台 AEM型

この度は、TRUSCO軽量高さ調整作業台AEM型をお買い上げいただきまことにありがとうございます。本製品は、付属の工具(メガネレンチ)1本で組立てられるシンプルな構造のうえ、高さの調整が出来る為、立作業用としてはもちろん、組立・梱包・仕分作業用として楽な姿勢で作業が行えます。また、天板のサイズ・バリエーションも豊富に揃っておりますので、工場・学校・作業室・研究室などで未永くご使用いただけます。

均等静止荷重 **150kg**

※均等静止荷重とは、天板の表面に均一に荷重をかけた場合に耐えられる重さの合計量をいいます
※表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

安全上のご注意 (必ずお守り下さい。)

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■表示荷重以上の荷重をかけない
作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■不安定な場所に設置しない
作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■キャスター付での使用時は、“キャスターの耐荷重” “作業台の耐荷重× $\frac{1}{2}$ ”のどちらか小さい方の荷重以下で使用する

■側面や正面からの大きな力をかけない
作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■キャスター付での移動時は、天板の上に物を置いたり、作業はしない。また、運搬に使用しない

作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■屋外や水のかかる場所に設置しない。また、ぬれたものを置かない

作業台にサビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■組立は、この組立・取扱説明書に記載の組立て手順に従う

手順を誤ると組立中に部品が外れたり、倒れたりして怪我をする恐れがあります。

■作業台の上横棧・下横棧の端面を素手で触らない

鋭利な部分に触れて、怪我をする恐れがあります。

■表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけない

■天板面は必ず水平になるよう、アジャスターを調節して使用する

傾いていると作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■作業台の切断、改造をしない

作業台が不安定になり、危険です。また、切断のバリ等で怪我をする恐れがあります。

■高さ調整を行う際、必ず軍手等保護具を使用し、高さ調整金具をしっかりとめこむ。また、作業台を裏返して行う

すき間に指を挟んだり、作業台が傾いたりして怪我をする恐れがあります。

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡してください。

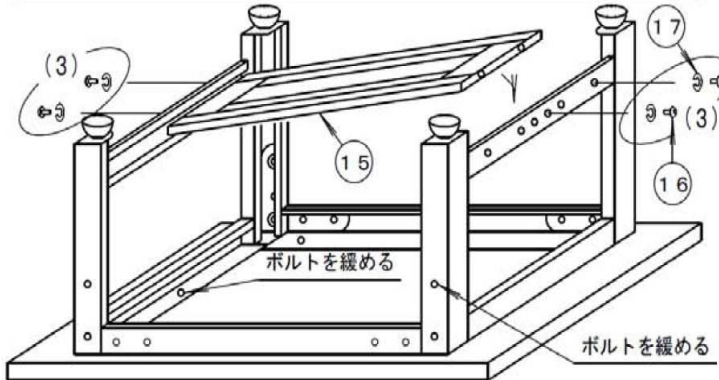
※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

下棚の取付方法

AE, EL, AEH型の場合

◎最初から組み立てるときは下横桟のかわりに下棚を取り付けて下さい。

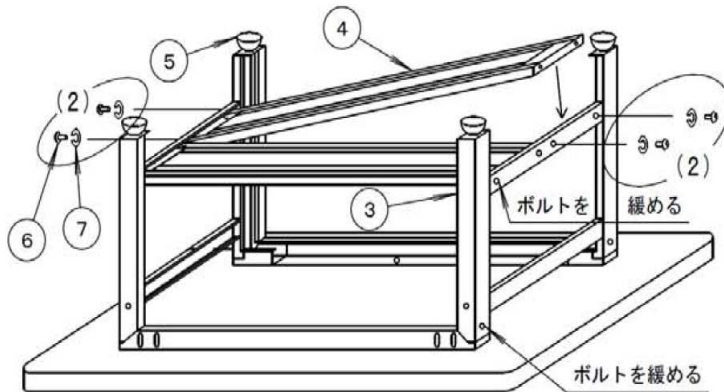
	AE型	EL型	AEH型
六角ボルト…4本 (M6×15)		ボタンボルト…4本 (M6×15)	トラスネジ…8本 (M6×15)
ボタンボルト…4本 (M6×15)		トラスネジ…8本 (M6×15)	
SW…4個 (スプリングワッシャー)		SW…4個 (スプリングワッシャー)	SW…8個 (スプリングワッシャー)
SW…4個 (スプリングワッシャー)			
SW…8個 (スプリングワッシャー)			



- (1) 作業台を逆さにして下横桟を取り付けているボルトを抜いて、下横桟を取り外して下さい。
- (2) 脚及び脚と天板を取り付けているボルトを緩めて下さい (計10カ所)。
- (3) 脚を開き加減にして下棚⑮を脚の下桟部分にはめ込み、任意の穴位置に合わせて外からSW⑰とボルト⑱で仮止めして下さい (左右各2カ所)。
- (4) 下棚を2枚取り付ける場合は(3)と同じ要領で仮止めし、下棚の仮止めが終わると下棚⑮を仮止めたボルト⑱及び(2)で緩めたボルト⑱全てをしっかりと締め付けて下さい。
- (5) 作業台を起こしてアジャスターで水平調節を行って下さい。

EW型の場合

◎最初から組み立てるときは本体を組み立てるときに下棚2枚を取り付けて下さい。



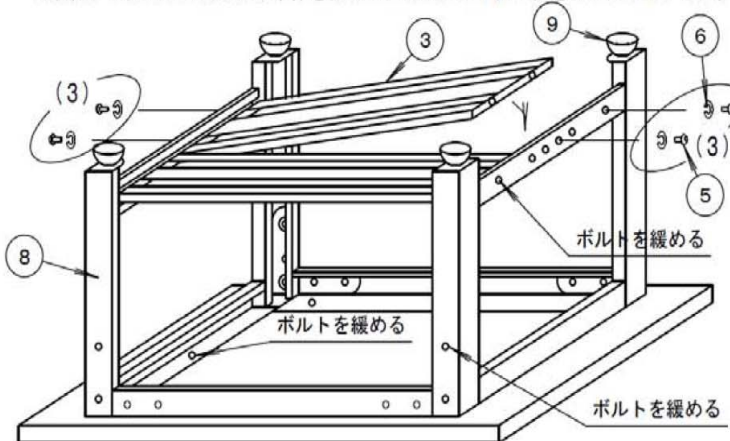
- (1) 作業台を逆さにして下棚④及び脚部③を固定しているボルト⑥を緩めて下さい (計8カ所)。
- (2) 脚部③を開き加減にして下棚④を脚部③の下桟部分にはめ込み、穴位置に合わせて外からSW⑦とボルト⑥で仮止めして下さい (左右各2カ所)。
- (3) (2)で仮止めたボルト⑥と(1)で緩めたボルト⑥を全て六角レンチでしっかりと締め付けて下さい。
- (4) 作業台を起こしてアジャスター⑤で水平調節を行って下さい。

EW, AEW型

AEW型の場合

下棚…1枚	ボタンボルト…4本 (M6×15)	SW…4個 (スプリングワッシャー)
-------	-------------------	--------------------

◎最初から組み立てるときは本体を組み立てるときに下棚2枚を取り付けて下さい。



- (1) 作業台を逆さにして片方の脚⑦を取り付けているボルト④を取り外して下さい (計6カ所)。
- (2) 下棚③を取り付けているボルト④を(1)で取り外した側のみ取り外して下さい (2カ所)。
- (3) ボルト④を取り外した側の脚⑦を少し開かせ、下棚③を脚⑦の下桟部分にはめ込み、脚⑦を元に戻して下棚③の穴を合わせてSW⑤とボルト④で仮止めして下さい (左右各2カ所)。
- (4) (1)(2)で取り外したSW⑤とボルト④を同じ所に仮止めして下さい (計8カ所)。
- (5) 仮止めた全てのボルト④を六角レンチ⑥でしっかりと締め付けて下さい。
- (6) 作業台を起こしてアジャスター⑧で水平調節を行って下さい。